



VOICE
芝人

いまなお歴史を残す黒塀

明治42年(1909)創業の「末げん」は、新橋駅前のニュー新橋ビル向かい、柳通りを挟んだ一等地に構える老舗の鳥割烹。平成8年(1996)に近代的なビルに改築後も、旧店舗の木材を活用し、1階の外装にはかつてのシンボル「黒塀」を使った店構え。玄関口の床、竹で編んだ壁の飾りも色・艶ともに、歴史と伝統を感じさせます。新橋二丁目烏森町会会長や愛宕一之部連合町会会長、芝地区生活安全・環境美化活動推進協議会会長などを務め、地元への貢献も大きい、末げん3代目代表取締役の丸哲夫さんを訪ねました。

新橋花街の歩み

明治維新まで、江戸の花柳界の中心は隅田川沿いの柳橋でした。明治5年(1872)9月、新橋―横浜間に鉄道が開通すると、東京遷都以降の花柳界は「新柳二橋」と呼ばれるようになり、政治家、実業家、軍人も新橋周辺に集まるようになりました。

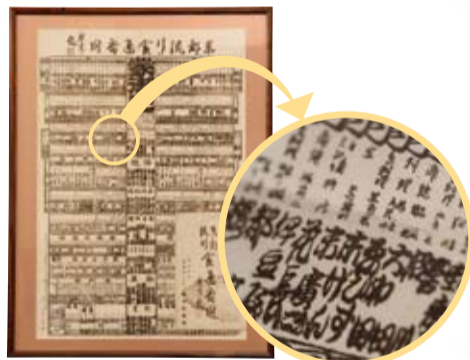
彼らの情報交換や密談の舞台となったのが、「花月楼」(銀座7丁目)、「湖月楼」(瓢や) (ともに新橋) などの高級料亭。花街の「三業」と称される料理屋・待合茶屋・置屋が「待合政治」の中心でした。

また、同年の大火で焼失した銀座を「文明開化のまち」として再建しようと「銀座煉瓦街計画」の建設工事が行われます。銀座の新橋寄りにあった花街は、汐留川(現虎ノ門〜幸橋付近)を越えて芝区(現港区)烏森神社付近に移

転。煉瓦街の工事終了後は、再び京橋区(現中央区)銀座に戻る業者と烏森にとどまる業者に分かれ、新橋の花街は汐留川を挟んで、芝区の「南地」と銀座の「煉瓦地」と呼ばれるようになりました。

店には当時の食通番付が残っており、見せていただくことができました。

大正7年(1918)発行の食通番付に掲載されている「末げん」



企業家精神のさきがけ

企業家精神のさきがけとして、「末げん」創業者の丸源一郎は、日本橋の「末廣」で修業を積み、のれん分けの際には、花街として活気のある新橋の地を目指しました。

明治42年、烏森神社の周りに栄えた烏森地区に、「末廣」と自身の名前である「源一郎」から店名を「末げん」とし、「烏森仲見世店」を構え、約3年後「湖月楼」の向かいに「末げん 本店」を構えます。花街の中心地に登場した「末げん」に、周囲からは「いつまで続くやら」の声もあったとか。政治家が多く通った高級なイメージの銀座と比べ、南地である烏森は軍人が多く、ややくだけた雰囲気人が呼び込まれました。最盛期には今の資生堂ビルの近く、金春湯の

あたりに「割烹末げん 銀座店」も構えていました。

戦前は、農家で飼育された食べごろの鶏を仲買から仕入れ、本店地下のケージで飼い、その場でさばっていました。鶏を湯引きするボイラーがあり、その熱でお風呂を焚き、湯上がりの客が浴衣に着替え、鶏と酒を楽しみました。丸さんの幼い頃、店には客用の浴衣がたくさん積まれていたと言います。

店で提供していたのは「ソップ炊き」。備長炭で炊いた鶏のスープを大根おろしで食べます。終戦後は鶏鍋だけでなく、竜田揚げや鶏料理を職人とともに考えました。こうして、ソップ炊きは評判を呼び、間口九間の黒い塀がシンボルになり、「黒塀の料理屋」として、多くの著名人に愛されることとなります。

政治家や歌舞伎役者などに愛され続けた老舗

この地で育った丸さんは、戦後、焼け野原にバラック小屋が建った新橋の思い出を語ってくれました。

「花街はすたれましたが、商業施設地として再開を果たした新橋。子どもたちは幼い頃から三味線や踊りなどの芸事を仕込まれます。学校から帰ると両親は働いているため、習い事に通うのです。映画館も多く、帰宅後は住み込みの婆やに連れられて映画館に通い西部劇をみたり、歌舞伎座に通って時間を過ごしました。

芸事を学びながら、旦那遊びも自然と身につけていくのがこの商人界の習わしでした。昨今ではそのような旦那気質もすたれ、『割り勘』『おつり』とは縁のない、粋な大人が少なくなったのは残念です。

大正期には総理大臣原敬に、戦前は名優・6代目菊五郎に愛され、歌舞伎座にもよく出前を届けていました。店内に飾られている『敬天愛人』『為丸君一郎』は、鳩山一郎が総理大臣に就任した際に、先々代の創業者、源一郎に贈られたものです。

女中見習いとして勤めた人も多く、お座敷でお客様に誘われてもどんちゃん騒ぎをするものではないと、厳しくつけられたそうです。丸さんの奥様、武子さんが若女将として嫁いだ昭和45年(1970)。11月24日に、常連客の一人であった文豪・三島由紀夫が、楯の会のメンバー5人と訪れ、名物鶏鍋コースを堪能した際のこと。普段、ご主人は厨房で料理に専念し、若女将はお座敷に顔を出さないようにしていましたが、「今日は特別のお客様だからご挨拶に



昼の看板メニュー
「かま定食」(左)と
「から揚定食」(下)

「かま」は鶏スープを「鍋」、ご飯を「釜」と呼んだことに由来



出なさい」と当時の女将に言われた武子さん。「どうぞまたお越しくださいませ」と挨拶すると、「また来いと言われてもなあ。でもこういうきれいな女将がいるなら、あの世からでも来るか」と去ったのが、三島が自衛隊市谷駐屯地で自害する前日だったそうです。

老舗の哲学

暖簾や箸袋、包装紙、膝掛けには、創業者の書いた「末げん」の墨文字。丸さんは、「祖父の源一郎の『一社一業』という社是を守り、手広く進出するのではなく、一つの場所で一つのことをし続けるという魂を受け継いできました」と語ってくれました。

3代目の丸さんは、看板メニューであるスープの鶏鍋「わ」のコースやランチも始めました。4代目になる息子の敬一郎さんは、京都の「つる家」で修業。現在は「末げん」にて、和食の盛り付けを取り入れた鶏料理を展開しています。

* * *

時代の流れとともに勢いよく変化する新橋界隈。粋な江戸の気質や花街の表情は消え去りつつも、サラリーマンの聖地として、さらにメディア街の一角として、新しい表情を見せています。

伝統の味を受け継ぐことを大切にしながら、新たな試みも続ける「末げん」。進化するまちを見守る筋の通った丸さんの笑顔と、香り高い鶏スープが心を温めてくれます。

【文 ■ 早川由紀】

- 取材協力
末げん 丸 哲夫さん
- 参考文献
「三島由紀夫も愛した新橋 あやしさと昭和の香り」と
木原貴之 著 朝日新聞社
「東京 花街・粋な街」上村 敏彦 著 街と暮らし社

Information

鳥割烹 新橋 末げん
新橋2-15-7 Sプラザ弥生1階
TEL 03-3591-6214
●ホームページ <http://www.shinbashi-rk.com/shop/suegen/>



聖アンデレ教会の成り立ち

飯倉坂上を東京タワーへ向かい、左手の一段高くなったところに聖アンデレ教会が白く輝いている。隣は聖オルバン教会、前にメソニック本部、インドのタタグループ、東京タワーと並ぶ。



聖アンデレ協会を正面からみた外観

聖アンデレ教会は伝統的なキリスト教会であり、日本聖公会東京教区の主教座聖堂でもある。教会のパフレットによると、「聖公会とは、聖なる公同の教会を意味し、現在は全世界で7千万人を超える信徒がいる。日本には350の教会と4万5千人の信徒が教育や社会福祉分野にも貢献。東京では、立教学院、立教女学院、香蘭女学校、聖路加国際病院などが関係している。明治12年(1879)英国からの宣教師アレクサンダー・クロフト・ショウ(以下A.C.ショウ師)が福澤諭吉の援助を受け、この地に聖堂を創設し日本語で最初の礼拝を行ったのが始まり。現在の聖堂は平成8年(1996)に完成した。『皆さ

聖アンデレ教会 訪問記

日本聖公会 東京教区
聖アンデレ教会

11代牧師 司祭 笹森田鶴師
祭壇前の聖アンデレのまえで



ボーイ・ガールスカウトの活動拠点ロッジ



んがご自由にお過ごしなされるよう開放しており、礼拝時の御案内も用意しております』との思いそのままに、同じ位置で互いの出会いを楽しめるよう内部を平面に設計した空間が広がる。『教会の主な活動は、毎日曜日に行われる礼拝(聖餐式)です。これは、イエス・キリストが十字架に掛けられる前の晩に弟子たちが行った共同の食事(『最後の晩餐』)を記念して、この食事に参加することで、すべての人と手をつなぎ、ひとつとなって人々のために働く力を与えられるもの』と書いてある。

A.C.ショウ師による学びの貢献。そして意外な発見も。

A.C.ショウ師は、ベリーが浦賀に來航した嘉永6年(1853)の7年前、1846年にカナダのトロントに生まれた。論吉より11歳年下になる。1870年に司祭に



創立者 A.C.ショウ師



創立136周年記念

に形成された教会です」とある。また、カナダ人A.C.ショウ師は、明治19年(1886)の夏休みに友人の東大教師ジェームズ・ディクソンと、軽井沢が避暑地として適した場所であることを発見。以後毎年家族で訪れるようになり、この年が軽井沢避暑地元年となったとも言われている。

教会の名前は、スコットランドの守護聖人であるアンデレが由来だ。アンデレは、アンドリュウ(英)・アンドレア(伊)・アンドレイ(露)とも言われ、イエス・キリストの12人の弟子の一人でペトロ、ヤコブ、ヨハネと並ぶ。伝承では、小アジア、スキタイで活動しゾルガ川まで行ったと伝えられている。ルーマニア、ロシアでも守護聖人とされ、正教会のコンスタンチノーポリでは初代総主教とされる。ギリシャのアカイア地方では、X字型十字架でアンデレは処刑され殉教したと言われており、これがアンデレを象徴した十字架となり、旗や紋章に使われている。例えばスコットランド国旗(青地に白)や英国旗ユニオンジャックの一部になっている。

【文 ■ 柴崎賢一、柴崎郁子 写真 ■ 米原剛】

●取材協力
笹森田鶴牧師 片岡大造さん 片岡に枝さん
斎藤美代子さん
●参考文献
『軽井沢という聖地』吉村祐美、桐山樹著 NTT出版
『福澤諭吉と宣教師たち』白井堯子著 未来社

Information

日本聖公会 東京地区 聖アンデレ教会
芝公園 3-6-18 TEL 03-3431-2822
●ホームページ <http://www.st-andrew-tokyo.com>

芝の食文化 赤飯

祝い事に欠かせないハレの日のめでたい行事食



店主の森田慶三さん

卒業や入学、入社シーズンを迎え、お祝いをする家庭が多いことでしょう。日本では昔から、祝い事には赤飯をお印として出すのが慣例となっています。春に限らず慶事や成人、賀寿など人生の節目の時、また五節句、お祭りにも赤飯は欠かせません。

最近ではあまり見られなくなった初午、新築の上棟式、農家の田植えの日には赤飯を炊いて、神棚や仏壇にお供えしてから近所に配ったもので



上から時計回りに、東海菓子店が元祖の栗きんとん最中、茶湯、きみしぐれ



赤飯が出る日は店先に赤ちょうちんを掲げる

す。赤い色は邪気を払い、厄除けの力があると信じられて縁起物に用いられました。

赤飯のことを“おこわ”とも言いますが、これは、昔は赤米を固めに蒸したので強飯、つまり固い飯のことなのです。やがて白飯にあずき、またはさげを混ぜて蒸すようになりました。

一般庶民が祝い事に赤飯を出すようになったのは、江戸後期頃からです。関西ではもち米にあずきを、関東ではさげを使うことが多いです。

塩釜神社そば、店に入ると、ほのかにあずきの香りが漂う和菓子専門の「東海菓子店」があります。

御年75歳の店主、森田慶三さんは、午前3時頃から9時頃まであずきを煮て生地を練り、15種類もの和菓子は全て手作業で作り、8時の開店準備まで一人でこなしています。10時になると、世話好きと言われる人気者のおかみさんが店先で呼び込みを始め、客が続々と入ってきます。

赤飯は予約制で、大釜の上に何段もせいろを



もち米とさげのほのかな甘みが絶妙な赤飯

重ねて蒸します。もち米は千葉県産、さげは北海道産を使っています。予約のあった日は多めに作り、店にも出します。

和菓子類は、あんに少しだけ塩を加えて甘さを引き出すのが店主流。みそまんじゅうの皮には醤油を少し入れて、みそらしい色合いと風味を強調します。まんじゅうの皮には、春はさくら、夏は鮎を、秋にはもみじの焼き印を押して季節感を出しています。

祭りやイベントの時には、大きな石臼と杵で、一人でたくさんのおもちを搗くので大忙し。既製品とはひと味もふた味も違う、もちもちとした柔らかな食感が味わえると、多くの注文が入るほど地元から親しまれ、頼られています。

普段は、石臼を店先に置き蓋をして、客が座って順番を待てるよう、腰掛けにしています。

昭和の雰囲気漂う店と和菓子の味。長年ご夫婦2人でコツコツと地元で根づいた商売をしている姿が、何とも味わい深く感じられます。

【文 ■ 千葉みな子 写真 ■ 米原剛】

●参考文献
『祝いの食文化』松下幸子著 東京美術

Information

東海菓子店
新橋5-31-8
TEL 03-3431-2974

知ってる?
乗ってる?

春風爽やか自転車シェアリング

都心でも少しずつ春の訪れを感じるようになってきました。厚手のコートを脱いで自転車で出かけてみませんか。春風が心地よいですよ!



区では、平成26年(2014)10月から環状2号線周辺(新橋・虎ノ門)エリアと港南エリアの2つの地域で自転車シェアリングをスタート。その後、区内で展開し、昨年12月末時点で区内27カ所のサイクルポートに合計295台の電動アシスト自転車配備され、登録者数は11,178人となっています。利用形態は、30分単位で借りる1回会員、月単位での月額会員、1日パスの3種類が用意されているほか法人契約もあります。料金は30分の1回利用で150円、1カ月だと2000円(ともに税抜き)。

利用にあたっては、パソコンまたはスマートフォン端末などから港区自転車シェアリングのサイトにアクセスし、新規会員登録をする必要があります(詳細は記事末尾に掲載のホームページ参照)。

シェアリングと貸自転車の最大の違いは、乗り捨てができること。芝地区で借りて、六本木のポートに返却という区内の利用はもちろん、今年2月からは千代田、中央、江東の3区とも横断的に使えるようになりました。つまり4区で116ポート、1,115台(12月1日現在)の自転車を利用可能ということです。

千鳥ヶ淵で桜見物をして靖国神社横から自転車芝地区に帰ってきたり、芝地区で借りてレインボーブリッジ(橋の上は手押し通行)からお台場、有明、豊洲までサイクリングを楽しんで、ショッピングモール横に返却、帰りは地下鉄でといった楽しみ方もできそう。

自転車シェアリングを頻繁に使っているという芝地区在勤の男性は、「毎日の通勤にも利用しています。区内にはポートが多く設置されていて、大変便利」と、生活に欠かせない交通手段になっていると話しています。

サービス圏域が4区に広がったことでは今後利用拡大が期待できるほか、車体の一部に広告を掲示することも決まり、新たな収入源になると見込まれています。

区では、来年度予算に約1億5000万円を計上してポート数を170カ所、自転車を1,710台まで増やす計画。4区全体でもポート数と自転車の台数増加



新虎通りを走る



サイクルポート(区役所横)



利用者が多い虎ノ門ヒルズ脇のポート

を検討し、利便性のさらなる向上を目指しています。

サービス開始から1年が過ぎ、自転車シェアリングは徐々に定着してきたと話すのは、街づくり支援部交通対策担当の西川克介課長。利用率を測る回転率を見ると、当初は1日0.53回というペースでしたが、昨年10月時点で2.66回まで増えてきています。つまり1台あたり毎日平均3回近く利用されているということ。これにより放置自転車減少という効果も現れてきた一方で、登録者の個人情報管理や特定ポートへの自転車集中といった課題も見えてきたといえます。

また、現在は通勤や日中の営業活動など、ビジネス目的がほとんどなので、週末のレジャーや観光客の足としての利用をどう広げるかも課題。2020年の東京五輪では海外からの観光客も多数予想さ

れるため、スマートフォンアプリ「港区まち歩きナビ」を自転車にも利用できないか、区で検討中だそうです。

身近なふれあい生まれ、旅の満足度が高まる交通手段として、自転車への期待には大きなものがあります。また、五輪後も、鉄道やバスなどの公共交通機関と連携を図りながら、便利で環境にも優しく、健康増進にも役立つ乗り物として、もっと注目が集まることでしょう。それにあわせて、自転車専用レーンの整備も必要で、区では区道における自転車ネットワークの総延長を50kmまで延ばしてい

【文 ■ 中川寛之】

好きな場所へサイクリング

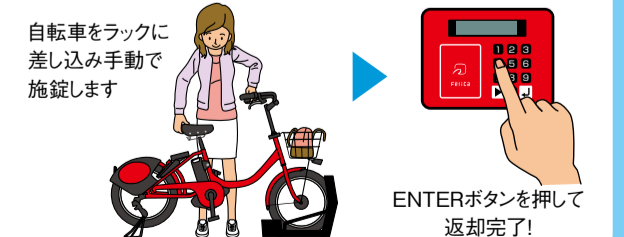
かんたん貸出し



自転車の操作パネルにパスコードを入力するかICカードをかざすだけで

電子錠が自動で開きます

かんたん返却



自転車をラックに差し込み手動で施錠します

ENTERボタンを押して返却完了!

●ホームページ
<http://docomo-cycle.jp/minato/>





日本語教育を中心とした多彩な活動は今年で39年目に

公益社団法人 国際日本語普及協会 AJALT

青字に白でJapanese Lessonsと書かれた看板が目印

神谷町交差点から御成門方面に歩いてすぐ、光明寺に隣接するビルにAJALTはある。

まだ、外国人に日本語を教えることがめずらしかった昭和52年(1977)に、現会長の西尾桂子さんを中心に教師たちが自主的に集い協会を設立した、日本語教室の草分け的存在でもある。事業の大きな柱は外国人に対する日本語教育。子どもから大人まで、さまざまな国籍の人たちに日本語を教えており、神谷町の教室で常時クラスを開講しているほか、東京近郊の企業や大使館、大学などにも教師を派遣して授業を行っている。大使館勤務開始に備えて神谷町教室で集中レッスンを受講中の外交官は、「この地域は都心にもかかわらず、周辺にお寺や神社がたくさんあって、落ちついた環境で勉強できます」と話してくれた。



AJALTの教師会員の皆さん

授業は、既存の教科書を使った画一的なものではなく、生徒のレベルに合わせ先生たちが独自にアレンジした方法で楽しく学べるのが特徴。レッスンの一環として、近くの商店で買い物の実践練習をしたり、愛宕神社や増上寺などに出かけて参拝の仕方を教わったりすることもある。芝地区は、外国人が高い関心を寄せる寺社仏閣が多く、学びの教材に事欠かないそうで、実際に日本の伝統にふれる授業は生徒たちに人気だ。

協会ではオリジナル教材も数多く開発している。例えば、初歩からコミュニケーションのための日本語を学べる

『Japanese for Busy People』シリーズは、世界中で170万冊以上使われているベストセラーである。オリジナルの教材を使った地元での活動にも積極的に、区立小学校に在籍する外国人児童への日本語指導では、「かんじ だいすき」シリーズの基礎編・教科編を活用しながら、日本語を母語としない子どものために無理なく楽しく、漢字力がつくよう工夫している。

- 取材協力 公益社団法人 国際日本語普及協会 理事長 関口明子さん 専務理事 内藤真知子さん 常務理事 戸田佐和さん 広報担当マネージャー 青木 忍さん



神谷町の教室で学ぶ生徒と先生

地元での活動の幅も広がりを見せている。3年前から文化庁の事業の一環として、光明寺境内のホールを利用し、日本で暮らす難民に対する日本語教室を開催している。また、今年度は、港区や区の国際交流協会、ボランティアの方々と連携して、地域の日本語教育を推し進めていくために、「ネットワーク会議」と「地域日本語フォーラム」をもあわせて開催している。 関口理事長は、「設立以来38年間、港区に拠点を置いて活動してきました。今後はさらに地域との関わりを深めていきます。日本語教育についてお知りになりたい時はどうぞお気軽にのぞいてください」と笑顔で話してくれた。

【文 ■ 柴崎郁子 写真 ■ 米原剛】

Information

公益社団法人 国際日本語普及協会 虎ノ門3-25-2 虎ノ門ESビル2階 ☎03-3459-9620 ●ホームページ <http://www.ajalt.org>

ご近所ラボ新橋をご存知ですか？



外観撮影：米原剛

ご近所ラボ新橋は、子どもから大人まで、地域の誰もが集い、交流することができる場として、芝地区総合支所と慶應義塾大学との協働によりオープンした「地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト」の拠点です。名前の「ラボ」に込められたのは、「地域を少しでも良くしていけるような試みを積極的に行っていく、わくわくする実験室(ラボ)のような場所に」という思い。平成26年(2014)4月のオープンからもうすぐ2年が経ち、多世代にわたり利用者が少しずつ増えてきています。

ラボのオープンスペースをのぞいてみると、左奥にはオープンキッチン、横にはコミュニティラウンジがあり、それぞれの場所でおしゃべりを楽しむ人々の姿が見られます。仲間うちだけで盛り上がっていることも、堅苦しい上下関係もなく、お互いをニックネームで呼び合うようなフラットな関係性を保てるご近所さんの憩いの場所。ラボにはいつも、自然で自由な空気が漂っています。

今回は、仕事や学校の帰りに立ち寄る人の多い夜間に行われている活動を主に紹介します。明日に備えての気分



夜の楽しい活動をご紹介します！

転換になるような内容が目白押しです。それぞれの曜日には、日ごとに代わるボランティアのスタッフ、通称曜日マスターがおり、マスターのコーディネートによる対話と交流を中心としたプログラムが行われています。

月曜日は、「ご近所ダイバーシティラボ(ダイバーシティ=多様性)」というオープンディスカッションが開催されています。ラボ周辺の地域、新橋五・六丁目をもっと知ろう、とマスターが思い立ったのがきっかけで始まりました。ラボから飛び出し、参加者でまち歩きをすることも。同じく月曜日に開かれる新聞部編集会議にて作成する、月に1回発行の「新橋ラボタイムス」には、ディ



区主催の「ご近所イノベータ養成講座」の修了生もラボで活躍しています(写真：飯塚 正倫)

スカッションの内容やご近所ラボ新橋のリアルタイムの活動が詳しく掲載されています。

火曜日は、ヨーロッパで親しまれているボードゲームなどをコミュニケーションツールとして使い、遊びながら楽しく会話を広げるボードゲーム部を時々開催。愉快で気さくなマスターが、ゲームを盛り上げてくれます。

毎週水曜日は「対話ラボ」の時間です。対話したい人たちのために、誰にでも開かれています。一期一会の対話と交流が和やかな雰囲気で行われており、出てくる言葉と、その時その場にいる自分自身を味わう、充実した時間を過ごせます。毎月第一水曜日の夜は軽食をとりながら、関心のあるテーマについて、みんなでにぎやかに話しています。人と対話することが好きな人は、どなたでもウエルカム！ぜひお越しください。

木曜日は2~3か月に1回のペースで「収穫野菜の料理会」を開催。きらきらプラザ新橋の屋上菜園で育った野菜の味を楽しめます。

「ほめる達人」であるマスターを中心に、「ほめほめナイト」を月1~2回行うのが金曜日。自分自身ががんばったことを参加者同士で共有し、お互いに照れずにほめ合います。自分の思いを素直に伝える大切さを感じながら一週間の締めくくる夜です。毎月第一金曜日の夜には図書部のセッションが行われるほか、シニア向けの「達人企画」も開催しています。

自由に誰かとおしゃべりでき、また、対話を通して自分を表現し、周りからの刺激を受けられるこの場所は、利用者にとって心の居場所となることでしよう。マスターも、自由な発想で「このひとときが楽しい」と思えるような空間づくりを心がけています。

この施設に入るのに、勇気などいりません。あなたも風のように新しい世界に飛び込んでみませんか？ 地域をちょっと豊かにする活動も、ラボの中であなたらしく始めることができます。好きなことをしているのが幸せ...そう思えるプログラムをきっと見つけられるでしょう。

ほかにも講座や特別イベントが開催されるので、ご近所ラボ新橋のホームページを、ぜひご覧になってください。

【文 ■ 岡岡恵美】

Information

ご近所ラボ新橋 新橋6-4-2 きらきらプラザ新橋1階 TEL 03-6459-0789 ●ホームページ <http://lab.gokinjo-i.jp>

芝地区 いきいきプラザ プラザ神明フェスティバル

今号は、前回に引き続き12月のプラザ神明フェスティバルを紹介します。12月は、9月に行われたフェスティバルとは全く趣向が違う「お祭り」です。フード、ブース、ステージの3つの構成。それぞれにいろいろな魅力を見つけました。



4F わくわくコーナー

味、ボリューム満点のフードコーナー

お祭りに食べ物は欠かせません。豚汁や唐揚げ、炊きこみご飯などが一緒になった格安の「めえめえセット」やB-1グランプリを受賞した富士宮焼きそばなど、美味しいものばかり。お腹いっぱいになりました。

わくわくブースコーナー

子どもから大人まで誰でも楽しめるいろいろなブースが用意されていました。例えば、影絵シアターでは、保育園の先生が「プレーメンの音楽隊」を公演。また、芝会議地域コミュニティ部会は、自然の木を使ったクリスマスリース作りを企画し、一人



5F クリスマスカード作り

ひとりオリジナリティのある作品ができあがっていました。その他、芝CCクラブによるペーパークラフト、フェイスペインティングやアロマハンドマッサージ、緑日など、さまざまなブースがあり、地域の方やボランティアの方が活躍していたのも印象的でした。

お楽しみステージ

保育園児や地域の小学生、中学生、高校生、子ども中高生プラザの子どもたち、いきいきプラザ主催の事業に参加している皆さんなど、ステージの出演者はさまざま。出演者同士がコラボするなど、子

どもと大人と一緒にステージが上がって楽しんでいました。最後に「みんなでソーラン節」と題して、体育館の中にいる全参加者で「なるこ」を持って、南中ソーランを踊りました。踊ったことがない人も、「なるこ」を手と一緒に参加。準備された500セットの「なるこ」は全て使われたとのこと。場内満員で盛り上がりました。その他にも、大抽選会や「阿見とれたて野菜市」など、いろいろなコーナーがあり、楽しむことができました。

12月のフェスティバルは、地域の子どもから大人までたくさんの方が参加し、みんなで一緒に作った、遊んだりすることで、自然と多世代交流が生ま



「みんなで踊ろう」

れるイベントでした。 芝地区の各いきいきプラザでは、春の芝地区元氣フェスタ(三田)、とらトピアの夏祭り(虎ノ門)など、それぞれが趣向を凝らしたイベントを開催しています。また、いきいきプラザはお祭りだけでなく、多種多様な取り組みをみんなでやっている施設です。ぜひ、楽しみにいらしてください。

【文・写真 ■ 米原剛】



初出演のポイトレ教室

スタッフ出し物

今回のイベントのお知らせ
企画名 芝地区元氣フェスタ
会場 三田いきいきプラザ
日時 3月6日(日)午前11:00~午後3:30
参加費 入場無料(食券有料、前売券あり)

●写真・資料提供 指定管理者：百葉の会・東急コミュニティー共同事業体

Information

三田いきいきプラザ 芝4-1-17 TEL 03-3452-9421
神明いきいきプラザ(プラザ神明) 浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500
虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア) 虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941
●ホームページ <http://shiba-ikiiki.com>



入口

入口

芝地区掲示板

芝会議からのお知らせ

芝地区区民参画組織「芝会議」メンバー募集

芝地区をより良いまちにしようとする皆さんが、区と協働して活動しています。

- ①まちの魅力発掘部会
 - ・語り部養成講座、芝の語り部、マチ・マップ芝
- ②まちづくり部会
 - ・環境、エコロジー、防災
- ③地域コミュニティ部会
 - ・世代間交流イベント、地域ルール「芝しぐさ」の発信
- ④地区版計画推進部会



港区基本計画芝地区版計画書の見直しを検討します。

- 対象** 芝地区在住・在勤・在学者
- 活動日** 会議は平日の夜間に月1~2回程度、イベントが年2~3回程度



- その他** 報酬、交通費などの支給はありません。会議の際は一時保育を希望できます。
- 申し込み** 住所、氏名、職業(学校名)、電話番号、メールアドレス、希望部会名を記入し、郵送またはファックスで3月21日(月)までに下記へ。

問合せ先 〒105-8511 港区芝公園1-5-25
港区芝地区総合支所協働推進課地区政策担当
TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

お知らせ

平成28年度 港区民交通傷害保険に加入しましょう

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、車両による交通事故でケガをしたときに、入院や通院治療日数と通院治療期間に応じて保険金をお支払いする保険制度です。

また、自転車または身体障害者用車いすの所有・使用・管理に起因して、他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したりしたこと等によって発生した、法律上の損害賠償を補償する「自転車賠償責任プラン」も併せて募集します。

自転車事故でも被害の大きさにより多額の損害賠償金を支払わなくてはならない場合もあります。いざというときのために「自転車賠償責任プラン」も併せてご加入されることをお勧めします。

詳しくは、各総合支所で配布するパンフレットまたは港区ホームページをご覧ください。

※自転車賠償責任プランのみに加入することはできません。

※今回の募集より保険料金が改定されました。

- 加入対象者** 平成28年4月1日時点で港区に住所がある人
- 保険期間** 平成28年4月1日午前0時~平成29年3月31日午後12時
- 加入方法** ◎個人加入の場合

各総合支所協働推進課協働推進係または区内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に記入の上、保険料を添えてお申し込みください。

◎10人以上の団体加入の場合

各総合支所協働推進課協働推進係で、団体加入申込書に記入の上、人数分の保険料を添えてお申し込みください。

- 加入申込期間** 2月1日(月)~3月31日(木)
※金融機関での申し込みは3月22日(火)までです。申込期間外の加入はできません。

コースの種類と保険料 表の6つのコースから1つを選んで加入してください。複数のコースへの加入はできません。

コース	補償内容	年額保険料	最高保険金額
A	区民交通傷害Aコース	1,000円	150万円(交通傷害)
B	区民交通傷害Bコース	1,700円	350万円(交通傷害)
C	区民交通傷害Cコース	2,900円	600万円(交通傷害)
AJ	区民交通傷害Aコース+自転車賠償プラン	1,300円	150万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
BJ	区民交通傷害Bコース+自転車賠償プラン	2,000円	350万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)
CJ	区民交通傷害Cコース+自転車賠償プラン	3,200円	600万円(交通傷害)+1,000万円(自転車賠償)

(引受保険会社)

このご案内は、概要を説明したものです。

詳しくは、損害保険ジャパン日本興亜(株)東京公務開発部営業開発課(千代田区霞が関3-7-3)にお問い合わせください。TEL03-3593-6506

問合せ先 芝地区総合支所協働推進課協働推進係
TEL 03-3578-3123

(SJK15-13941、
平成28年1月5日作成)

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。

伊藤早苗/菊池弓可/清田和美/桑原庸嘉子
齋藤恵里花/酒井郁美/柴崎賢一/柴崎郁子
田岡恵美/高井志保/千葉みな子/中川寛之
中島洋/早川由紀/浜島孝啓/町田明夫
森明/森田友子/米原剛(五十音順 敬称略)

●今後の発行スケジュールは次の通りです。

H28.6.1発行(第39号)、H28.9.1発行(第40号)、
H28.12.1発行(第41号)、H29.3.1発行(第42号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1~3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設等で配布しています。

芝地区地域情報誌編集委員を募集しています!

芝地区の話題を発掘、取材し、執筆していただく地域情報誌編集委員(記者)を募集します。

- 対象** 芝地区に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
- 内容** 地域の話の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年4回発行予定)。発行ごとに平日の昼夜間に2時間程度の取材と、平日夜間に2回程度編集会議への参加があります。
- 申込み** 氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送でお申し込みください。
- その他** 報酬、交通費等の支給はありません。



港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)
TEL03-3578-3192 FAX03-3578-3180

ホームページ

<http://www.city.minato.tokyo.jp/>

平成28年
2月1日
就労継続支援
A型事業所

パン工房Quatreが オープンしました。

—おいしい焼きたてのパンを販売します—
販売時間: 午前11時半~午後1時(予定)

どんなお店?

- 障がいのある方々が働くお店です。
- 障がいのある方々に、就労の機会を提供するとともに、企業等の就労に必要な知識や能力の向上を図ります。また企業等への就労に向けた支援を行います。

Information

パン工房Quatre
港区芝1-7-1 第二中島ビル1階
営業時間: 午前8時30分~午後3時
定休日: 土・日・祝日
TEL 03-6435-1851
FAX 03-6435-1852

- 都営浅草線・大江戸線「大門駅」A1・A3出口…徒歩10分
- 都営三田線「芝公園駅」A1出口…徒歩10分
- 都バス(都06)・ちいばす芝ルート「金杉橋」…徒歩3分

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。
ウォーキングマップとしてご活用ください。

芝地区 MAP

- 1 末げん → P1
- 2 アンデレ教会 → P2
- 3 東海菓子店 → P3
- 4 AJALT → P4
- 5 三田いきいきプラザ → P4・5
- 6 神明いきいきプラザ → P4・5
- 7 虎ノ門いきいきプラザ → P4・5
- 8 ご近所ラボ新橋 → P5
- 9 オランダ大使館 → P6
- 10 エコプラザ → P7
- ※9は現在、欠番となっています。
- 11 パン工房Quatre → P8

1~20は旧町名由来の設置場所